



○ 草の根協力支援型

2014年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	マレーシア
2. 事業名	コタキナバル市における廃棄物管理の改善
3. 事業の背景と必要性	コタキナバル市（KK市）が使用する最終処分場の寿命は10年と言われており、処分場拡張など延命措置が行われているものの、廃棄物量は増え続ける一方である。また、同市から排出される廃棄物にはリサイクル可能なもの（紙、金属、プラスチック）が多いが、分別回収のシステムは未整備である。この度KK市より、当市の廃棄物管理について、秋田市のような先進地域からの援助・協力提供の必要性が示された。
4. プロジェクト目標	秋田市のごみ分別・回収の歴史・ノウハウを参考に、コタキナバル市における家庭ごみ分別・回収の実施準備が促進される。
5. 対象地域	コタキナバル市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	策定委員（7人）、パイロットプロジェクト実施地区住民（2地区、200世帯）、コタキナバル市役所の廃棄物関連職員（100人）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. KK市におけるごみ分別・回収の課題・必要性が把握される</li> <li>2. KK市における課題に即したガイドライン（GL）が策定され、市役所の担当職員の能力が開発される</li> <li>3. KK市（関連職員、市役所全体）によるGLへの必要性が理解される</li> <li>4. 秋田市民による本事業の理解が促進される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. KK市における廃棄物管理事業の現状把握のためのベースライン調査の実施</li> <li>2-1. KK市ごみ分別・回収GL策定委員会の組織</li> <li>2-2. KK市の現状に即した秋田市のごみ分別・回収の歴史・ノウハウに関する本邦研修</li> <li>2-3. KK市ごみ分別・回収GL（案）の作成</li> <li>2-4. GL（案）を実践するためのタスクフォースの設置</li> <li>2-5. パイロットプロジェクト実施とフィードバックによるGLの策定</li> <li>3-1. KK市役所廃棄物関連職員を対象にしたGL研修</li> <li>3-2. GLの公認へ向けたKK市役所への提案</li> <li>3-3. サバ州・マレーシア政府へのGL提出</li> <li>4-1. 秋田市民への情報発信・交流</li> </ol>
8. 実施期間	2015年12月21日～2018年12月21日（3年0カ月）
9. 事業費概算額	24,997,680円
10. 事業の実施体制	KK市、秋田市、サバ州、学識経験者、NPO等のから構成される『ごみ分別・回収ガイドライン策定委員会』を組織し、プロジェクトマネージャーを中心とする事業実施団体がこれを運営する。また、現地業務補助員は、プロジェクトマネージャーと連絡調整に基づき、KK市や現地NGOと現地視察・調査の調整、パイロットプロジェクトを含めた現地の事業進捗を管理する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	一般社団法人 あきた地球環境会議
2. 活動内容	地球環境と共生する持続可能な低炭素・循環型社会を構築・形成を目的とした団体。行政や民間など多様なセクターとの協働や、そのコーディネートを通じて、主に市民の意識変容、行動変容に関する活動を展開している。